

校訓《自律と創造》 貝塚市立第四中学校

四中だより



平成29(2017)年9月号 TEL433-1340 FAX433-1823

校長室から 井出 博 <http://www.kaizuka.ed.jp/dai4-jh/>

【明日をつくる十歳のきみへ～103歳のわたしから】

(いのちとは自分に与えられた時間のこと)

わたしは世の中をよくするために、こどもたちに二つのことをわかってもらいたいと思っています。(いのちと時間)

今年105歳で天寿をまっとうされた、聖路加国際病院名誉院長の日野原重明氏が、《いのちの授業》で伝え続けていたこと

① 「ゆるしの心を持つこと」

だれかにひどいめにあわされたから仕返しをする。それが正しいおこないなら、世の中から争いはなくなりません。やられたからやり返すというのでは、永久にけんかは終わりません。くやしくても、自分のところで争いを終わらせる。それが「ゆるし」です。いのちの大切さを知って、いのちを守ろうと決意したみんなが、「ゆるし」の心で争いを断ち切っていく。そういう行動が生まれていくことが願いです。

② 「おとなになったら人のために自分の時間を使えるような人になること」

こまっている人やまずしい人を助けるためでもいいし、たくさんの人を幸せにするためでもいい。自分のためではなく、だれか人のために自分の時間を使うことこそが、その人が本当に生きていることになります。「人のために自分の時間を使ったら、そんをする」と考える人がいるかもしれませんが、そんなことはありません。人のために時間を使っても、多くの人から喜んでもらうことができれば、幸せな気持ちになることができます。それは、まわりまわって自分のためにもなることです。

※生徒会合宿（府立青少年海洋センター）8月17日18日



淡輪海洋センターでの合宿は、今年で3年目になります。2学期に向けての目標や、生徒会劇を制作しました。



PTAの役員さんが陣中見舞いに駆けつけてくれました。PTAの茶野会長から『このような活動が四中を支えています。生徒会劇も誇りを持って胸を張って発表して下さい。』と激励のお言葉をいただきました。日高生徒会会長は「より良い四中づくりに向けてさらに頑張っていきます。」とお礼と抱負を述べました。



【樹木伐採】

8月27日（日）早朝より、PTA役員や歴代会長様をはじめ、保護者や地域の方々により炎天下の中、樹木伐採を実施しました。校門から玄関・中庭の雑草がきれいに刈り取られました。体育館裏側や運動場周辺も大変きれいになりました。野球部・テニス部員も頑張ってくれました。



【表彰】

- 全日本中学校通信陸上競技会大阪大会
第三位 男子1年生100m 12秒03 大下 隼
- 泉南地区中学校体育大会
第三位 女子バスケットボール部
優秀選手賞 10番 岸根沙葉 14番 井田歩里
剣道女子個人の部 準優勝 濱田優羽